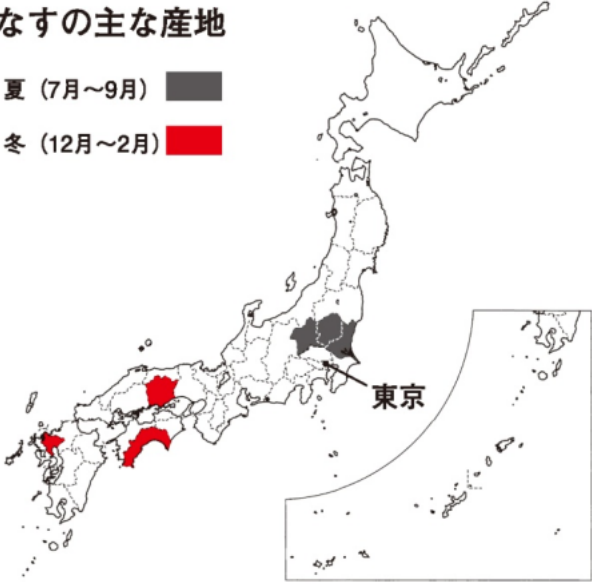


【平成23年度 適性検査Ⅰ 解答例】

研究1	課題1	<p>(例)</p> <p>行った → うかがった</p> <p>言った → おっしゃった</p> <p>わかったよ → わかりました</p>																																
	課題2	<p>(例)</p> <p>そこで、わたしたちは学習したことを多くの方々にお伝えしたいと考え、学習発表会を開くことにしました。わたしたち二班は、川口さんに教えていただいたり、本で調べたりした伝統行事のことをクイズにして発表します。ぜひ、川口さんに見ていただき、感想をお聞きしたいと思っています。どうぞ学習発表会におこしく下さい。お待ちしております。</p>																																
研究2	課題1	<p>(例)</p> <p>長い辺どうしをつないだときと、短い辺どうしをつないだときのすわれる人数のちがいを調べると、</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>テーブルの数(台)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>長い辺どうしをつないだとき(人)</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>短い辺どうしをつないだとき(人)</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>28</td> <td>34</td> <td>40</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>人数のちがい(人)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>テーブルが7台のとき、すわれる人数のちがいが12人になる。</p> <p style="text-align: center;">つないだテーブルの数(7)台</p>	テーブルの数(台)	1	2	3	4	5	6	7	長い辺どうしをつないだとき(人)	10	14	18	22	26	30	34	短い辺どうしをつないだとき(人)	10	16	22	28	34	40	46	人数のちがい(人)	0	2	4	6	8	10	12
	テーブルの数(台)	1	2	3	4	5	6	7																										
長い辺どうしをつないだとき(人)	10	14	18	22	26	30	34																											
短い辺どうしをつないだとき(人)	10	16	22	28	34	40	46																											
人数のちがい(人)	0	2	4	6	8	10	12																											
課題2	<p>(例)</p> <p>大テーブルにすわる子どもの数を1とすると、中テーブルにすわる子どもの数の割合は$\frac{2}{5}$、小テーブルにすわる子どもの数の割合は$\frac{1}{3}$である。</p> <p>大、中、小のテーブルにすわる子ども全員の割合は、</p> $1 + \frac{2}{5} + \frac{1}{3} = \frac{26}{15} \text{ となる。}$ <p>全員で104人だから、</p> <p>大テーブルにすわる子どもの数は、$104 \div \frac{26}{15} = 60$ (人)</p> <p>中テーブルにすわる子どもの数は、$60 \times \frac{2}{5} = 24$ (人)</p> <p>小テーブルにすわる子どもの数は、$60 \times \frac{1}{3} = 20$ (人)</p>																																	

		<p>使ったテーブルの数は、 大テーブル $60 \div 10 = 6$ (台) 中テーブル $24 \div 8 = 3$ (台) 小テーブル $20 \div 4 = 5$ (台) になる。</p> <p>大テーブル (6) 台、中テーブル (3) 台、小テーブル (5) 台</p>
<p>研究 3</p>	<p>課題 1</p>	<div data-bbox="411 456 927 566" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>県名</p> <p style="text-align: center;">群馬県</p> </div> <div data-bbox="564 620 1259 1305" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">なすの主な産地</p> <p>夏 (7月~9月) </p> <p>冬 (12月~2月) </p>  </div>
	<p>課題 2</p>	<p>(例)</p> <div data-bbox="414 1451 1401 1727" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>主な産地について</p> <p>夏 (7月~9月) の主な産地は、東京に近いところに位置しているが、冬 (12月~2月) の主な産地は、東京からはなれたところに位置している。</p> <p>入荷量について</p> <p>夏 (7月~9月) に比べると、冬 (12月~2月) の入荷量は少ない。</p> </div>
	<p>課題 3</p>	<p>(例)</p> <p>夏 (7月~9月) は、1年間の中で入荷量が最も多くなる時期であるため、価格が下がっていることがわかる。また、高知県は東京からはなれており、東京周辺の県と比べて輸送費が高くなるので、価格が下がる夏 (7月~9月) に出荷しても利益が少ないから。</p>

研究 4	課題 1	<p>(例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>条件 1 風通しのよい場所</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>条件 2 日かげ</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>条件 3 地面から高さが1.2m~1.5mぐらいのところ</p> </div>
	課題 2	<p>(例)</p> <p>根から取り入れる水よりも、葉から出ていく水（水蒸気）のほうが多くなるから。</p>
	課題 3	<p>(例)</p> <p>雨水をたくわえ、少しずつ川へ水を流し出すから。</p>